

さっぽろししょう しゃほけんふくしけいかく
札幌市障がい者保健福祉計画

さっぽろししょう ふくしけいかく だい き
札幌市障がい福祉計画(第3期)

けんとうしりょう
検討資料

へいせい ねん がつ
平成22年12月

けいかくさくてい しゅし もくてき 計画策定の趣旨と目的

札幌市は、障がい者施策を計画的に推進していくために、以下のとおり障がい者計画を策定してきました。

- 札幌市障がい者福祉計画 平成7年5月策定
- 札幌市精神障がい者保健福祉計画 平成10年6月策定
- 札幌市障がい者保健福祉計画 平成15年3月策定

この間、平成15年度から「支援費制度」が、平成18年度からは「障がい者自立支援法」が施行され、障がい者の自己決定と自己選択の尊重、三障がいの一元化、地域生活移行や就労支援に対応するサービス提供基盤の整備に向けて取組を進めてきました。

- 札幌市障がい福祉計画(第1期) 平成19年3月策定

平成18年12月には「障がい者の権利に関する条約」が国連総会において採択され、政府は平成19年9月に条約に署名し、関係省庁により批准に向けた協議が行われています。

北海道においては、平成22年4月から「北海道障がい者条例(通称)」が本格施行され、障がい者の権利擁護、暮らしやすい地域づくり、就労支援などの取組を行っています。

- 札幌市障がい福祉計画(第2期) 平成21年3月策定

平成21年9月には、内閣府に設置された障がい者制度改革推進

ほんぶ ちゅうしん しょうがいしゃじりつしえんぽう はいし あら そうごうてき せいど
 本部を中心に、障害者自立支援法の廃止と新たな総合的な制度
 そうせつ む ぎろん おこな
 の創設に向けての議論が行われています。

このように、障がい者を取り巻く環境は大きく変化しており、
 のこ かだい あら かだい てきせつ はあく じだい
 残された課題や新たな課題を適切に把握し、これからの時代にあ
 もくてき もくひょう せってい しょう しゃしやく すいしん ひつよう
 った目的、目標を設定し、障がい者施策を推進していく必要が
 あることから、なか ちょうきてきてんぼう た たいけいてき ほうこう あき
 中・長期的展望に立った体系的な方向を明らかに
 するためけいかく さくてい
 計画を策定するものです。

なお、けいかく かいてい じょうき くに せいどかいかく
 計画の改定にあたっては、上記の国における制度改革の
 どうこう りゅうい ひつよう
 動向に留意する必要があります。

さっぽろし げんじょう かだい 札幌市における現状と課題

しょうがいしゃてちょうしょじしゃすう < 障害者手帳所持者数 >

	へいせい ねんど 平成21年度	へいせい ねんど 平成22年度	のびりつ 伸率%
しんたいしょう 身体障がい	79,979	82,137	2.7
ちてきしょう 知的障がい	11,287	12,090	7.1
せいしんしょう 精神障がい	13,332	14,668	10.0
けい 計	104,598	108,895	4.1
そうじんこう 総人口	1,898,348	1,904,903	0.3

ちゅう かくねんどまつげんざい てちょうしょじしゃすう
 注) 各年度末現在の手帳所持者数である。

さっぽろし しょうがいしゃてちょうしょじしゃすう ねんねんぞうか
 札幌市における障害者手帳所持者数は年々増加している。

とく ちてきしょう じ しゃおよ せいしんしょう しゃ ぞうか
 特に、知的障がい児・者及び精神障がい者が増加している。

ていきょうじぎょうしよすう おも
< サービス提供事業所数 (主なもの) >

ほうもんけい じぎょうしよすう おも
 訪問系サービス事業所数(主なもの)

	へいせい ねん がつ 平成21年4月	へいせい ねん がつ 平成22年4月		へいせい ねん がつ 平成23年4月	
			ぜんねんひ 前年比		ぜんねんひ 前年比
きょたくかいご 居宅介護	320	345	25		
じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護	322	346	24		
いどうしえん 移動支援	271	292	21		

にっちゅうかつどうけい じぎょうしよすうおよ ていいん おも
 日中活動系サービスの事業所数及び定員(主なもの)

	H21年4月	ねん がつ H22年4月		へいせい ねん がつ 平成23年4月	
			ぜんねんひ 前年比		ぜんねんひ 前年比
せいかつかいご 生活介護	事業所数	43	55	12	
	定員	1,035	1,469	434	
じゅうろういこうしえん 就労移行支援	事業所数	28	32	4	
	定員	313	369	56	
じゅうろうけいぞくしえん 就労継続支援 (A型)	事業所数	15	21	6	
	定員	273	354	81	
じゅうろうけいぞくしえん 就労継続支援 (B型)	事業所数	63	90	27	
	定員	1,280	1,769	489	
じどう 児童デイサービス	事業所数	43	74	31	
	定員	521	906	385	
ちいきかつどうしえん 地域活動支援センター	事業所数	74	65	9	
	定員	1,265	1,212	53	

きょじゅうけい じぎょうしよすうおよ ていいん
 居住系サービスの事業所数及び定員

	H21年4月	ねん がつ H22年4月		へいせい ねん がつ 平成23年4月	
			ぜんねんひ 前年比		ぜんねんひ 前年比
きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	事業所数	222	250	28	
	定員	1,119	1,257	138	
しせつにゅうしよしえん 施設入所支援	事業所数	8	13	5	
	定員	290	610	320	

ていきょうじぎょうしよすう ねんねんぞうか
 サービス提供事業所数は年々増加している。

ちいきかつどうしえん しゅうろうしえんしせつ しんたいけい いこう
 (地域活動支援センターは、就労支援施設(新体系)へ移行する
 ものもあり、減少傾向にある。)

げんけいかく すう ちもくひょう
< 現計画の数値目標 >

とうじしゃ かん しみんりか いど
 当事者などが感じる市民理解度

	へいせい ねん ど 平成17年度	へいせい ねん ど 平成19年度	へいせい ねん ど 平成22年度	もくひょう 目標
りか いど 理解度	17.6%	21.3%		50.0%

しせつにゆうしよしゃ ちいきせいかつ いこう にん
 施設入所者の地域生活への移行(人)

	へいせい ねん がつ 平成17年10月 ～19年3月	へいせい ねん がつ 平成19年4月 ～20年3月	へいせい ねん がつ 平成20年4月 ～20年9月	へいせい ねん がつ 平成20年10月 ～21年9月	へいせい ねん がつ 平成21年10月 ～22年9月	へいせい ねん ど 平成23年度 もくひょう 目標
いこうしやすう 移行者数	99	62	73	82		
ざいけい 累計		161	234	316		480
しんちよひつ 進捗率		33.5%	48.8%	65.8%		

しせつにゆうしよしやすう にん
 施設入所者数(人)

	へいせい ねん がつ 平成17年10月	へいせい ねん ど 平成18年度	へいせい ねん ど 平成19年度	へいせい ねん ど 平成20年度	へいせい ねん ど 平成21年度	へいせい ねん ど 平成22年度	へいせい ねん ど 平成23年度 もくひょう 目標
にゆうしよしやすう 入所者数	2,528	2,505	2,479	2,426	2,312		
さくげんすう 削減数		23	49	102	216		370

たいいんかのうせいしんしやう しゃ ちいきせいかついこう にん
 退院可能精神障がい者の地域生活移行(人)

	へいせい ねん ど 平成17年度	へいせい ねん ど 平成18年度	へいせい ねん ど 平成19年度	へいせい ねん ど 平成20年度	へいせい ねん ど 平成21年度	へいせい ねん ど 平成22年度	へいせい ねん ど 平成23年度 もくひょう 目標
たいいんかのうしや 退院可能者	400		372		234		400
さくげんすう 削減数			28		166		

ふくししせつ いっぱんしゆうろう いこう にん
 福祉施設から一般就労への移行(人)

	へいせい ねん ど 平成17年度	へいせい ねん ど 平成18年度	へいせい ねん ど 平成19年度	へいせい ねん ど 平成20年度	へいせい ねん ど 平成21年度	へいせい ねん ど 平成22年度	へいせい ねん ど 平成23年度 もくひょう 目標
いこうしやすう 移行者数	22	51	85	74	83		100

しせつにゆうしよしゃ ちいきせいかつ いこう ちやくじつ すいしん
 施設入所者の地域生活への移行については、ほぼ着実に推進
 している。

たいいんかのう せいしんしやう しゃ すう げんしやう
 退院可能な精神障がい者の数については、減少しているもの
 の、目標値の達成は難しい状況にある。

ふくししせつ いっぱんしゆうろう いこうしやすう まいねんどちやくじつ
 福祉施設から一般就労への移行者数については、毎年度着実
 に推移している。

< 障がい福祉サービス等見込量（主なもの） >

障がい福祉サービス見込量（主なサービス）

		平成20年度	平成21年度		平成22年度		平成23年度
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
居宅介護	時間/月	46,128	44,460	50,041	50,812		54,467
重度訪問介護	時間/月	42,092	44,566	47,404	57,976		69,294
生活介護	人日/月	23,496	17,093	37,965	47,430		60,925
就労移行支援	人日/月	6,044	8,008	6,713	9,597		10,727
就労継続支援A	人日/月	5,162	5,196	8,108	5,362		5,982
就労継続支援B	人日/月	19,623	23,975	28,400	34,149		39,795
児童デイサービス	人日/月	8,655	10,513	13,409	11,779		13,075
共同生活介護・共同生活援助	人/月	1,129	1,345	1,339	1,508		1,680

地域生活支援事業見込量（必須事業・主なもの）

		平成20年度	平成21年度		平成22年度		平成23年度
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
相談支援事業	個所数	14	15	15	16		17
手話通訳派遣事業	の延べ人数	5,483	6,946	5,360	7,584		8,280
日常生活用具給付事業	きゅうふけんすう	26,419	29,909	28,296	31,282		32,655
移動支援	の延べ時間数	395,621	350,550	405,135	463,050		503,953
地域活動支援センター	りようにんすう	1,003	1,028	905	1,004		1,000

地域生活支援事業見込量（任意事業・主なもの）

		平成20年度	平成21年度		平成22年度		平成23年度
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
紙おむつサービス事業	の延べ人数	13,961	12,770	20,415	18,485		20,390
入浴サービス事業	の延べ人数	3,892	3,886	4,112	4,696		4,970
日中一時支援事業	の延べ人数	17,975	16,220	18,484	16,220		16,220

サービスの実績値は、着実に増加している。

< メモ >

障がい児・者実態等調査（アンケート）等の集計が完了しだい、

当該概要を記載

< 障がい福祉を取り巻く現状と課題 >

1 ニーズの高度化・多様化

重度障がい者の地域生活支援の充実、移動支援の適用
拡充、就労相談の充実など、地域生活支援・就労支援等に
対するニーズが高まっており、障害者自立支援法等の法定サ
ービスでは全てに対応することが難しく、札幌市独自の取組
を併せて行うことが効果的であると考えられます。

2 障がい者施策の動向

国においては、障がい者制度改革の議論が行われており、
障がいの定義の見直し、地域生活移行、生活支援の充実な
どに向けて検討が進められています。

3 限られた財源・資源の有効活用

サービス利用者の増、利用者負担の軽減等により、法定サ
ービスに係る経費の増が著しい他、札幌市独自のサービスに
係る経費も確保する必要があり、創意工夫により限られた
財源・資源を有効活用しなければなりません。

4 市民自治の推進

自治基本条例の施行により、N P 法人やボランティア
団体、町内会の活動が活発になっており、それらの団体と
連携して障がい者施策を推進する必要があります。

けいかく こうせい 計画の構成

しょう しゃほけんふくしけいかく ぶ 障がい者保健福祉計画の部

しょうがいしゃきほんほう もと しょう ふくししさくぜんぱん さくてい
障害者基本法に基づき、障がい福祉施策全般について策定

しょう ふくしけいかく ぶ 障がい福祉計画の部

しょうがいしゃじりつしえんほう しょうがいふくし えんかつ ていきょう
障害者自立支援法の障害福祉サービスの円滑な提供につい
て策定

また、ほんけいかく さつぽろし べつとさくてい ちいきふくししゃかいけいかく
また、本計画は、札幌市が別途策定する「地域福祉社会計画」、
こうれいしゃほけんふくしけいかく しょけいかく せいごうせい たも れんけい
「高齢者保健福祉計画」など諸計画との整合性を保ちながら、連携し
すいしん
推進していきます。

けいかく きほんりねん 計画の基本理念

きょうせいしゃかい じつげん 共生社会の実現

しょう うむ こくみんだれ そうご じんかく こせい
障がいの有無にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を
そんちよう ささ あ きょうせいしゃかい じつげん めざ
尊重し支え合う共生社会の実現を目指します。

けいかくもくてき 計画目的

けいかくもくてき しみん ちいき しょう かん りかい そくしん
計画目的1：市民、地域の障がいに関する理解の促進

けいかくもくてき しせつ びょういん ちいき いこうすいしん じ こけってい
計画目的2：施設、病院から地域への移行推進とサービスの自己決定
のための支援

けいかくもくひょう 計画目標

けいかくもくひょう こじん そんちょう ちいきしゃかい りかいそくしん
計画目標1：個人として尊重されるための地域社会への理解促進

しょう うむ こ かちかん みと あ そうご
障がいの有無を超えて、それぞれの価値観を認め合い、相互に
じんけん そんちょう い いしき じょうせい
人権を尊重しながら、ともに生きるという意識の醸成が
え ぶつりてきしょうへき せいどてきしょうへき ぶんか じょうほうめん しょうへき
得られるよう、物理的障壁、制度的障壁、文化・情報面での障壁、
いしきじょう しょうへき と のぞ しょう
意識上の障壁などさまざまなバリアを取り除き、障がいについ
ての理解促進を図ります。

けいかくもくひょう しみん ちいき れんけい そうごしえん
計画目標2：市民、地域との連携と相互支援

さっぽろし こうせい しみん ちいき じぎょうしゃ ぎょうせい
札幌市を構成する市民・地域、事業者、そして行政がそれぞ
れのうちば おう やくわり にな れんけい そうご ささ あ
れの立場に応じた役割を担い、連携し、相互に支え合うことによ
り、しょう ひと たい しえん しみん ぢか
り、障がいのある人に対してさまざまな支援やサービスが身近な
ちいき ていきょう ちいき なか せいかつ
地域で提供され、地域の中で生活できるまちをめざします。

けいかくもくひょう しゃかいてきじりつ じつげん む しえん 計画目標3：社会的自立の実現に向けた支援

しょう ひと も のうりよく じゅうぶん はつき ちいきしゃかい
障がいのある人が、持てる能力を十分に発揮し、地域社会へ
せっきょくてき さんか うなが じつげん む しえん
積極的に参加できるよう促し、その実現に向け支援します。

けいかくもくひょう そうごうてき ていきょう 計画目標4：サービスの総合的な提供

ニーズに応じた質の高い保健福祉サービスが、にゅうようじき
こうれいき きょうきゅうしゃ そうごうてき してん えんかつ
高齢期まで、さまざまな供給者から総合的な視点で円滑かつ
こうかてき ていきょう じょうほう ようい え たいせい かくりつ
効果的に提供され、その情報が容易に得られる体制の確立をめ
ざします。

また、みんかん しみんだんたい かつよう ちいき
民間、NPO など市民団体によるノウハウを活用し、地域
しゃかい しげん じんざい じぎょう しせつ ゆうこう かつよう ひつよう
社会の資源(人材、事業、施設)を有効に活用するとともに、必要
とされる じぎょう さいこうちく おこな
事業の再構築を行います。

けいかくたいけい 計画体系

つぎ ぶん や ぶんるい そうご きょうちょう けいかくもくてき
次の 8 つの分野に分類し、相互に協調しあいながら計画目的、
もくひょう じつげん めざ
目標の実現を目指します。

きほんりねん 基本理念

ちいき じりつ せいかつ おく きょうせいしゃかい じつげん
地域で自立した生活を送ることができる共生社会の実現

けいかくもくてき 計画目的

- しみん ちいき しょう かん りかい そくしん
1 市民、地域の障がいに関する理解の促進
- しせつ びょういん ちいき いこうすいしん じ こけてい しえん
2 施設、病院から地域への移行推進とサービスの自己決定のための支援

けいかくもくひょう 計画目標

- こじん そんちょう ちいきしゃかい りかいそくしん
1 個人として尊重されるための地域社会への理解促進
- しみん ちいき れんけい そうごしえん
2 市民、地域との連携と相互支援
- しゃかいてき じりつ じつげん む しえん
3 社会的自立の実現に向けた支援
- サービス そうごうてき ていきょう
4 サービスの総合的な提供

ぶん や 分野

りかいそくしん
理解促進
ほけん いりょう
保健・医療
きょういく いくせい
教育・育成
じょうほう
情報・コミュニケーション

せいかつしえん
生活支援
せいかつかんきょう
生活環境
こよう しゅうろう
雇用・就労
スポーツ・文化

しょう ぶんくしけいかく 障がい福祉計画

すうちもくひょう みこみりょう
数値目標・サービス見込量 など

かくぶんや きほんしさく 各分野の基本施策

ぶんや 分野1

りかいそくしん 理解促進

基本施策1 広報活動などの推進

基本施策2 福祉教育などの推進

基本施策3 サービス提供事業者などへの理解促進

基本施策4 障がい当事者の社会参加の推進

ぶんや 分野2

せいかつしえん 生活支援

基本施策1 生活支援体制などの整備

基本施策2 障がい特性などに応じた福祉サービスの推進

基本施策3 情報提供、相談体制の充実

基本施策4 福祉用具などの研究開発支援

基本施策5 生活安定のための支援

ぶんや 分野3

ほけん・いりょう 保健・医療

基本施策1 健康づくりの推進

基本施策2 障がいの予防対策の充実

基本施策3 早期発見・早期療育の充実

基本施策4 医療、リハビリテーションの充実

基本施策5 精神保健、医療の充実

ぶんや
分野4

せいかつかんきょう
生活環境

基本施策1 まちづくりの推進

基本施策2 住宅環境の整備

基本施策3 雪対策、防災、安全対策の推進

ぶんや
分野5

きょういく いくせい
教育・育成

基本施策1 早期療育の充実

基本施策2 学校教育の充実

基本施策3 地域などでの活動支援

基本施策4 卒業後の支援

ぶんや
分野6

こよう しゅうろう
雇用・就労

基本施策1 雇用、就労の支援

基本施策2 福祉的就労の支援

ぶんや
分野7

じょうほう
情報・コミュニケーション

基本施策1 情報の共有化などの推進

基本施策2 情報バリアフリー化の推進

基本施策3 コミュニケーション支援体制の充実

ぶんや
分野8

スポーツ・文化

基本施策1 スポーツの支援

基本施策2 文化活動の支援

しょう ふくしけいかく 障がい福祉計画について

すうちもくひょう 数値目標

しょう ふくし みこみりょう みこみりょうかくほ ほうさく
障がい福祉サービスの見込量・見込量確保のための方策

こうせいろうどうしょう しめ よてい しょうがいふくしけいかくさくてい かか きほん
厚生労働省から示される予定の障害福祉計画策定に係る基本

ししんとう ふ
指針等を踏まえて策定します。

すうちもくひょうとういちらん 数値目標等一覧

とうじしゃ かん しみんりかいど
当事者などが感じる市民理解度

にゅうしょせつ にゅうしょしゃ ちいきせいかつ いこう
入所施設の入所者の地域生活への移行

にゅういんちゅう せいしんしょう しゃ ちいきせいかつ いこう
入院中の精神障がい者の地域生活への移行

ふくしせつ いっぱんしゅうろう いこう
福祉施設から一般就労への移行

しょうがいふくし どう みこみりょう
障害福祉サービス等の見込量

こうせいろうどうしょう しめ よてい しょうがいふくしけいかくさくてい かか きほん
厚生労働省から示される予定の障害福祉計画策定に係る基本

ししんとう ふ せってい
指針等を踏まえ設定します。